



豊岡市立歴史博物館 ニュース

—但馬国府・国分寺館—

2018.7 第53号

豊岡市立歴史博物館 〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町柿布 808
—但馬国府・国分寺館— TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



第44回企画展

学芸員のおしごと

一般の方にはあまり馴染みのない言葉かも知れませんが、学芸員とは博物館などで働く専門的な職員のこと。その仕事内容は、資料を集め、調査研究し、それを展示するなどさまざまです。

今回の展示では、歴史博物館の学芸員が実際に使用する道具や、仕事を進める上で必要となる特殊な技術などから、知られざる学芸員の世界を紹介します。

学芸員の仕事内容を知っていただき、子どもの皆さんには、博物館を身近に感じ気軽に足を運んでいただくきっかけに、大人の方には、博物館を支える学芸員の存在意義を知っていただくきっかけになれば幸いです。

■会 期 平成30年7月13日(金)～10月2日(火)

集める

学芸員の仕事は、まず資料を集めることから始まります。博物館において、資料とは、研究や展示のために集められた「モノ」のこと。しかし、手当たり次第に集めるわけではなく、それぞれの博物館の展示分野にそって、それに関連した資料を集めているのです。

歴史博物館では、主に歴史に関する展示をおこないますので、発掘調査で見つかった土器や、古文書、刀剣、民具などを中心に集めています。



但馬国分寺跡出土土器

出土品

昔の道具や生活の痕跡こんせきなどは、発掘調査によって出土したものがほとんどです。発掘調査では、ただモノを掘り出すだけでなく、どのような場所、深さ、状態で出土したのかを正確に記録しておかなければ「資料」とはなりません。



いちぼかなし
市場神無遺跡発掘現場

伝世品

発掘調査で見つかった「出土品」に対し、土の中に埋まることなく代々大切に保管されてきたものを「伝世品」とよびます。刀剣や甲冑かっちゆう、民具などの多くがここに含まれます。伝世品は、長い年月を経て伝わったものなので、もろくて壊れやすいものが多く、調査には注意が必要です。



かぶきしやう
永楽館歌舞伎衣裳整理

調べる、整理・保存する

集めた資料を詳しく調べることで、その資料がいつの時代のものか、何に使うものかなど、さまざまなことが分かります。学芸員は、それらをきちんと整理し、記録していきます。また、長い年月を経て状態のよくない資料を後世へ残すために、どのように保存すれば良いのかを考え、それぞれに適した処理をします。

数百年後の研究者にも分かるように整理・保存することも、いまを生きる学芸員の大切な仕事なのです。



資料整理風景

整理作業・報告書刊行

発掘調査が終わったら、集めた資料を整理します。土器などはきれいに洗ってからデータを取り、図面や写真などに記録していきます。そして、整理した情報をもとに、その遺跡がもつ性質など、発掘調査で分かったことを、報告書という形にまとめます。報告書を刊行し、多くの人に見てもらおうことで、本当の意味で発掘調査が終了したことになるのです。



出土品の実測

古文書の解読・写真撮影

古文書は、昔の人が筆を使って書いたもので、言葉づかいも違うため、現代の文字に慣れている私たちにとって非常に読みにくい資料です。筆の運び、「とめ・はね・はらい」などを手掛かりに、文字を解読します。

古文書の写真を撮影するときは、文字がはっきり読めるよう、シワをのばし、カメラを平行に設置して四隅まで映るようにします。同時に、紙の大きさや、何が書かれているのか大まかに記した調書をとります。



古文書の撮影

展示する

博物館の展示には、大きく分けて常設展と企画展があります。常設展は、博物館のもつ資料を用い、いつでも見られる展示。企画展は、あるテーマにそって集められた資料を一定期間展示するものです。

歴史博物館にも、たくさんの資料が展示されています。しかし、ただモノを並べるだけでは「展示」とはいえません。学芸員は、資料をよく調査研究し、どのように見せれば、その資料のもつ情報や価値を、見る人に正しく伝えられるかを考えて展示しているのです。

貝塚層剥ぎ取り標本

貝塚は、縄文時代の集落にあったゴミ捨て場が土に埋まったもの。貝殻のほか、貝のカルシウム成分に保護されて残った動物の骨、いらなくなった土器や石器が混じっている場合もあります。

貝塚の断面を特殊な薬品で剥ぎ取り、出土した状態のまま展示できるため、写真や図面で見るとよりも、細かい所まで観察でき、より理解を深めることができます。



展示替え風景



あわら
荒原貝塚発掘の様子

屋外展示

通常の発掘調査では、地面を掘り、出土品や遺構（昔の人が残した生活の痕跡）を記録した後は、元通りに埋め戻します。しかし、遺構が珍しいものであったり、遺跡公園として整備する場合などは、埋め戻さずにそのまま保存することがあります。また、その場に建物などが建設される予定で遺跡が壊されてしまう場合は、別の場所へ移し復元する方法もあります。それらを屋外展示とよびます。



市場神無遺跡中世墓復元移築

その他のおしごと



遺跡の現地説明会



小学校へのお出前授業



オオサンショウウオの保護



イベントへの参加

お知らせ

■体験教室「学芸員になろう！」

土器を作って、自分の作品を企画展示室に展示します。学芸員のお仕事のひとつ「展示」を体験してみませんか。作品は8月下旬にお渡しします。

日 時：7月28日（土） 13時30分～
 会 場：豊岡市立歴史博物館 総合学習室
 定 員：10名（先着順）
 料 金：310円
 申込先：0796-42-6111

他にも事業があります。詳細はホームページで。

ご利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
 （入館は午後4時30分まで）
- 休 館 日 水曜日
 年末年始（12月28日～1月4日）
- 入 館 料 一 般 500（400）円
 高 校 生 200（150）円
 小中学生 150（100）円
 ＊（ ）は20名様以上の団体料金
 ＊ 県内小中学生は無料（コロナカードを提示してください）
 ＊ 65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は半額



■最新情報はホームページをご覧ください。
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>

■facebook ページ公開中！
<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>